



富士山静岡空港からの新定期便として「静岡＝出雲」線が3月25日から運航を開始します。今回は、出雲の見どころを併せて紹介します。今回は、問い合わせ 企画政策課 増田 ☎(23) 0041

富士山静岡空港から「静岡＝出雲」線の運航開始



の運航開始

8年ぶり！

国内新規路線の運航

富士山静岡空港発着の国内線新定期便では、8年ぶりとなる「静岡＝出雲」線の運航が開始。これにより、静岡から電車約6時間かかる山陰地方へは、出雲線であれば約70分から80分で到着できます。富士山静岡空港の国内線は既存の5路線（新千歳、丘珠、福岡、鹿児島、那覇）に出雲を加えて6路線となり、国際線5路線（ソウル、台北、寧波、上海・武漢、杭州）と併せて11路線となりました。

縁結びのまち出雲

縁結びで有名な出雲大社がある島根県の出雲空港は、通称「出雲縁結び空港」とも呼ばれています。出雲大社の御祭神大國主大



神は、古くから「たいこくさま」として親しまれ、福の神、平和の神、縁結びの神で有名です。特に日本を代表する「縁結び」の神様として知られ、良縁祈願に毎年1000万人以上が訪れます。その他、島根県には松江城や世界遺産として登録されている石見銀山遺跡など、歴史のある観光スポットや温泉地もたくさんあります。出雲線を利用して、身近になった島根県を中心とした山陰地方を満喫してみましよう。

「静岡＝出雲」線の運航概要

- ▶ 運航会社：株式会社フジドリームエアラインズ
- ▶ 運航便数：毎日2便（1往復）
- ▶ 運航開始日：平成30年3月25日回から
- ▶ 使用機材：エンブラール170（76席） / 同175（84席） [ダイヤ]

便名①	静岡発	出雲着	便名②	出雲発	静岡着
FDA185	16:15	17:35	FDA184	14:30	15:40



子どもたちの学びの環境を検討

市教育委員会では社会環境の変化を踏まえ、子どもたちが充実した学びができるようにと、未来を見据えた望ましい教育環境について検討しています。問い合わせ 教育総務課 石川 ☎532642

未来を見据えて

近年インターネットなどによる国際化やAI（人工知能）などの技術の進歩により、社会情勢や雇用環境が大きく変わり始めています。また、全国的に人口が減少しており、当市も例外ではありません。そうした中、市の教育現場では、児童生徒数の減少が進むと予測され、加えて昭和30年後半から50年代に建てられた校舎などの老朽化が進んでいます。未来を見据えて今後、子どもたちにどのような学びが必要か、どのような学ぶ環境が効果的で充実したものになるかなど、方向性を定める必要があります。



坪池教育長から諮問書を受けとる島田佳吾委員長

教育のあり方検討委員会の設置

そこで、市教育委員会では「教育のあり方検討」と題し、子どもたちがより充実した学びができるようにと、教育環境の検討を始めました。この検討では、市民の皆さんの意見を聴き、取り入れながら進めていきます。

諮問書（抜粋）

今後の牧之原市にとって望ましい教育環境を明らかにするために、牧之原市教育のあり方検討委員会条例（平成29年条例26号）第2条第1項の規定により、下記の事項について諮問します。

記

- 1 諮問する項目
今後の牧之原市を見据えた、望ましい教育環境の方向性と具体案。
- 2 答申にあたっての留意点
多様な市民の意見を反映し、人々が魅力を感じる教育環境や、地域と学校の関わりについて検討すること。

まず、教育のあり方を検討するために、教育委員会の諮問機関として「教育のあり方検討委員会」を設置しました。委員は30歳代から60歳代で、専門家や小中学校の教職員、保護者、市内企業の代表者、公募の市民で構成され、委員会では平成30年12月を目途に、答申の報告書をまとめる予定です。平成30年2月1日、第1回検討委員会が市役所相良庁舎で開催され、委員の委嘱や教育委員会からの諮問、教育内容の検討が行われました。諮問書には、広く市民の意見を聴くことが明記されており、市民の皆さんの意見を聴く方法も委員会でも考えていきます。なお、委員会は原則公開で行われ、どなたでも傍聴することが出来ます。市では、子どもの学びの環境の方向性を示す必要性やその内容について、市民の皆さんと共有していきたいと考えており、今後もホームページや広報紙などでお知らせしていきます。